

## 【授業改善推進プラン 3年 国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれの観点における学力について、個人差が大きい。</li> <li>○漢字を正しく読んだり書いたりする技能に課題がある児童がいる。</li> <li>○主語・述語を整えて簡単な文章を書くことに課題や苦手意識がある児童がいる。</li> <li>○自分の考えを伝えることに意欲的な児童とそうでない児童がいる。</li> <li>○正しく話の内容を聞き取ることに課題がある児童がいる。</li> <li>○本に親しみすすんで読書をする児童が多い。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個に応じた指導の充実を図る必要がある。</li> <li>○一人一人の学習意欲をさらに向上させる必要がある。</li> <li>○漢字の読み書き等、基礎的な技能を定着させる必要がある。</li> <li>○話したり、聞いたりする等、表現力を身に付けさせる必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を見通した学習計画を立てるとともに、単元の導入を工夫することで児童の関心を引き出す。</li> <li>○ノートやワークシート、タブレットなど、児童にとって適切な学習材を使用できるようにする。</li> <li>○音読や漢字等について、繰り返し取り組むようにする。</li> <li>○授業内において、話したり、聞いたりする場面を意図的に設定する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書等を自力で読む場面を設定する。</li> <li>○共書きでめあてを書くようにする。</li> <li>○国語辞典を身近な場所に置き、いつでも言葉の意味を自ら調べる習慣を付ける。</li> <li>○文章中の主語・述語等を確認する場面を積極的に取り入れる。</li> <li>○家庭学習も含め、音読をしっかりとさせる。</li> </ul>

# 【授業改善推進プラン 3年 社会】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれの観点における学力について、個人差が大きい。</li> <li>○校外学習など、体験的な活動に大変意欲的に取り組む。</li> <li>○地図記号など、新しい知識を得ることにに対して意欲的な児童が多い。</li> <li>○教科書や資料を読み比べ、気付きや疑問をもつことができる児童が多い。</li> <li>○調べた情報を整理してまとめることに苦手意識をもっている児童がいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個に応じた指導の充実を図る必要がある。</li> <li>○一人一人の学習意欲をさらに向上させる必要がある。</li> <li>○調べた情報を整理してまとめる場面における指導を工夫する必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の時間との関連を図ったり、探究的な学びのサイクルを意識した単元計画を立てたりする。</li> <li>○ノートやワークシート、タブレットなど、児童にとって適切な学習材を使用できるようにする。</li> <li>○体験的な活動を積極的に取り入れる。</li> <li>○調べた情報を整理してまとめる場面において、スモールステップで丁寧に指導する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書等を自力で読む場面を設定する。</li> <li>○共書きでめあてを書くようにする。</li> <li>○資料から読み取ったことを文章やイラスト、図などにまとめる活動を積極的に取り入れる。</li> <li>○友達と意見を交流する場面を設定し、自分の考えを比べて、同義か異議か判断できるようにする。</li> </ul>

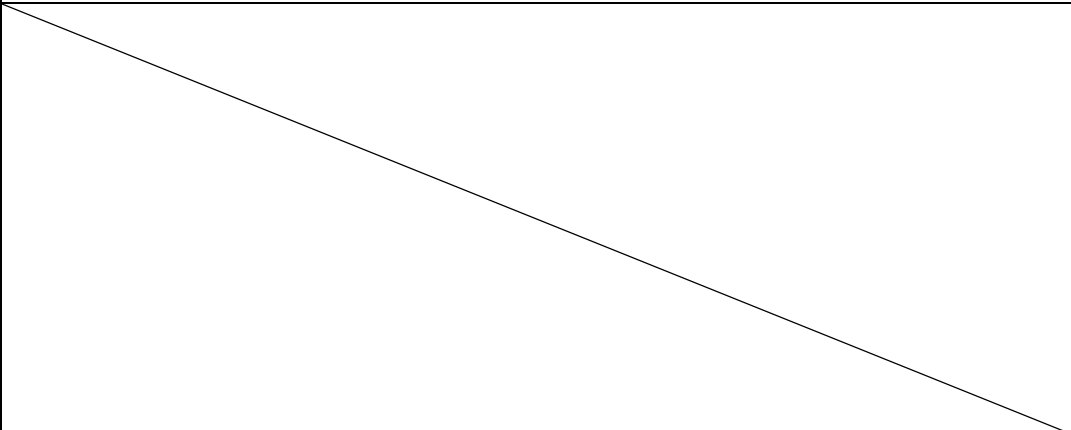
## 【授業改善推進プラン 3年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に意欲的に取り組んでいる児童が比較的多い。</li> <li>○低学年での基礎学力はおおむね定着している児童が多い。</li> <li>○新しい問題を解く際、どのように解けばよいかということを十分に身に付けている児童が少ない。</li> <li>○自分が考えた解き方を分かりやすく全員に説明する力が十分ではない。</li> <li>○他者の解き方の説明を聞いた際、自分の考えと比べ疑問点を意見として述べたり質問したりする力が不足している。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールが明確になるように、授業始めの「めあて」を常に工夫する必要がある。また、振り返りにおいて、「分かったこと」「難しかったこと」など振り返る視点が示されていないことがある。</li> <li>○問題を解くための戦略を身に付けさせるために、指導の工夫が更に必要である。</li> <li>○解けずに困っている児童に対しての支援方法を更に研究する必要がある。</li> <li>○児童の発言力（特に対話的な話し合いの仕方）を高めるための具体的手だてを更に増やす必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のゴールがよく分かるよう、「めあて」の文言を示す。</li> <li>○解き方が分からない児童を適宜集め、問題を解く手順を考えさせるなど、具体的なアドバイスをおくる。</li> <li>○ノートのかき方・発問や解法でよいものを取り上げ全体に示すことにより、表現力・思考力を高めさせる。</li> <li>○児童が解決法を説明する際、必要に応じて指導者が補助をする。また、価値のある発言や質問を取り上げ、よい点を具体的に示す。</li> <li>○時間を5分確保する・視点を明確に示すなどして、振り返りをより充実させる。</li> <li>○電子黒板やタブレットなどを活用し、分かりやすく魅力ある授業を行う。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章題の内容を確実に理解させるために、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認する。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。</li> <li>○問題を一人一人が考えた後、解決法をかいたノートを児童同士で読み合う時間を設け、他の児童が考えた解決法を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○解き方を発表する際、初めに児童の解き方を黒板に記す。そして、どのように解決したのか考える時間を設け、図や表・式などから解き方を読み取る力を伸ばす。</li> <li>○定義となる語彙が新たに登場した際、ノートに記述させ全員で読ませたり、当てはまる具体例を考えさせたりすることにより、新しい語彙を確実に定着させる。</li> </ul>

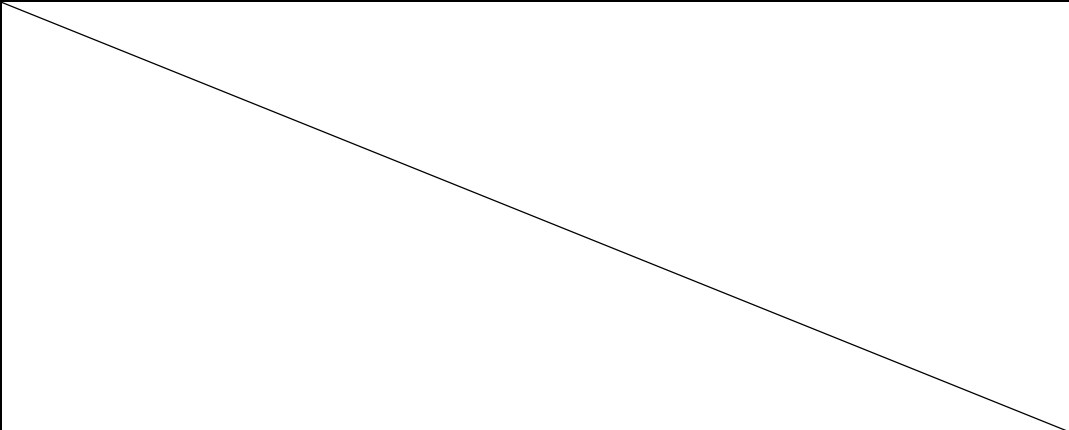
## 【授業改善推進プラン 3年 理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のそれぞれの観点における学力について、個人差が大きい。</li> <li>○生き物や植物に関する興味関心が高い児童が多い。</li> <li>○実験や観察など、活動を好む児童が多い。</li> <li>○実験結果や観察の様子を記録する際には、事実や観点到に基づいて正確に記録することが苦手な児童がいる。</li> <li>○理科における問題解決型の学習スタイルに慣れていない。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個に応じた指導の充実を図る必要がある。</li> <li>○一人一人の学習意欲をさらに向上させる必要がある。</li> <li>○事実や観点到に基づいて粘り強く正確に記録する指導を工夫する必要がある。</li> <li>○問題解決型の学習スタイルの定着を図っていく必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の時間との関連を図ったり、探究的な学びのサイクルを意識した単元計画を立てたりする。</li> <li>○ノートやワークシート、タブレットなど、児童にとって適切な学習材を使用できるようにする。</li> <li>○体験的な活動を積極的に取り入れる。</li> <li>○問題解決型の学習過程におけるそれぞれの学び方について、丁寧に指導する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書等を自力で読む場面を設定する。</li> <li>○共書きでめあてを書くようにする。</li> <li>○資料から読み取ったことを文章やイラスト、図などにまとめる活動を積極的に取り入れる。</li> <li>○友達と意見を交流する場面を設定し、自分の考えを比べて、同義か異議か判断できるようにする</li> </ul>

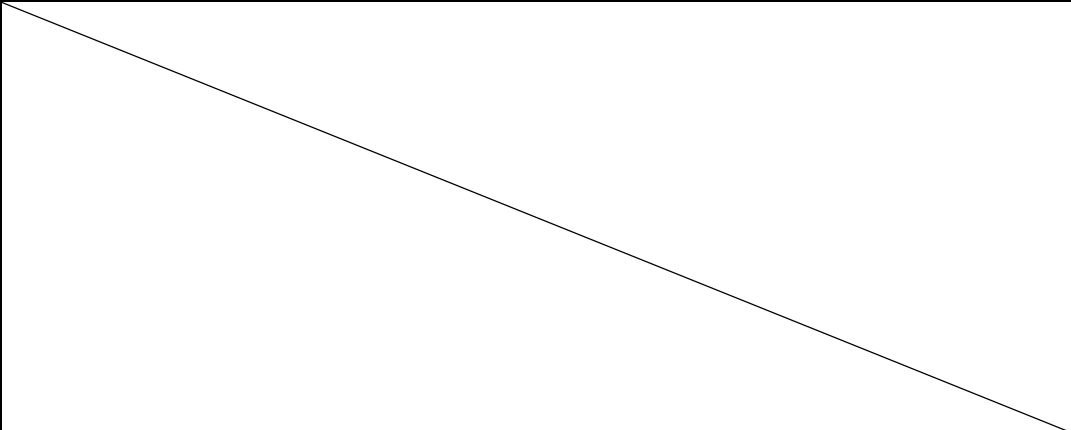
# 【授業改善推進プラン 3年 図工】

<p>児童の状況</p>	<p>○カッターなどの用具や、絵の具の使い方、パステルとの組み合わせなどの画材技能などの既習事項は十分な経験がある。しかし、そのような知識や技能の定着には児童間に差がある。（知識・技能）</p> <p>○自分なりに作りたいものを発想できる児童が多い。しかし、誰かの真似になってしまったり、発想に偏りがあったりする児童もいる（思考・判断・能力）</p> <p>○図工全般に対して意欲的である。また、互いの作品の良さを見つけるような雰囲気もあり、心理的安全性の高い状態で活動することができている。しかし、それが特定の児童間だけになってしまう児童もいる。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
<p>指導についての課題</p>	<p>○技能の定着が十分ではない児童に向けた、より効果的な個別の指導の技術や言葉かけ。</p> <p>○発想に偏りがあったり、なかなか思いつかない児童にむけた、効果的な全体指導の方法、授業展開の工夫。</p> <p>○表現活動に一部制約があるため、造形遊びや鑑賞等の共同的な学習の体験が十分ではない。</p>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<p>○技能を定着していくために、既習事項を振り返る時間や、既習事項を生かしている児童の作品紹介などを行う。</p> <p>○児童が発想しやすいテーマを設定するために、児童の興味関心を図るためにアンケートや机間指導を充実させる。</p> <p>○特定の児童間だけの交流にならないよう、班の構成を変えたり、共同して制作する題材をバランスよく取り入れたりする。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策や感染数などの状況を見極めながら、予定している単元を組み替えながら、造形遊び等の学習活動を行っていく。</p> <p>○教師の板書から、児童が自身でめあてを設定し、その時間の取り組み目標をもつ。併せて、そのめあてをもとに、その日の活動を振り返る活動を毎時間設定する。</p>
<p>読み解く力の育成</p>	

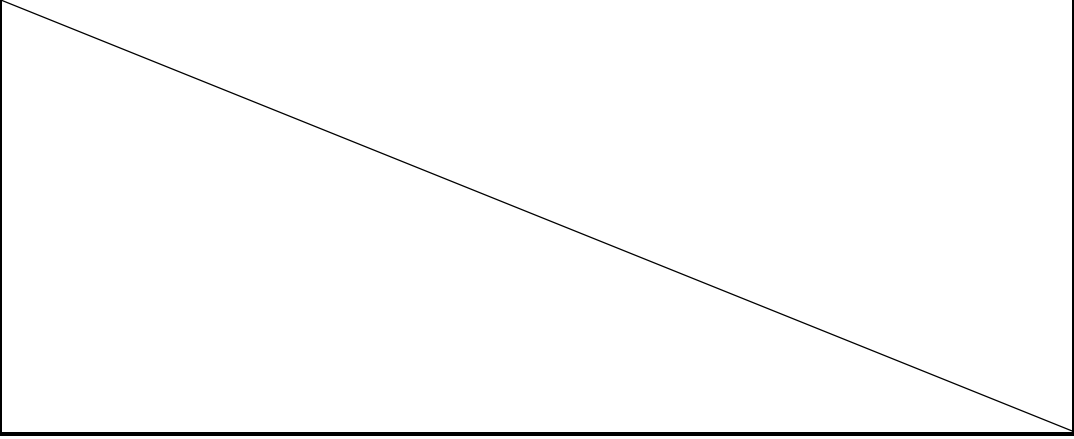
# 【授業改善推進プラン 3年 音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習に対する意欲は高いが授業規律はあまり守れていない。</li> <li>○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができています。</li> <li>○技能を生かしたり、友達とやさしく教えあったりしながら学んでいる。</li> <li>○自分の考えや友達の意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術が必要である。</li> <li>○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。</li> <li>○表現活動に一部制約があるため、学習内容に偏りがあり、様々な学習の体験が十分ではない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。</li> <li>○児童の実態に応じた教材解釈を行うと共に、授業内で習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。</li> <li>○新校舎に移り、屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し。歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

# 【授業改善推進プラン 3年 体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動することを好意的に捉えている児童が多い。</li> <li>○準備や片付けなどに対して、安全に配慮し、協力して行うことができる児童が多い。</li> <li>○新しい運動に対して、粘り強く取り組む児童が多い。</li> <li>○運動能力に個人差があり動きがぎこちない児童がいる。</li> <li>○動きを友達と見合い、アドバイスを送り合うなど協働的に学習することができる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動の特性に応じた楽しさを十分味わわせる必要がある。</li> <li>○課題解決的な学習過程を工夫する必要がある。</li> <li>○個に応じた指導の充実を図る必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団行動等の指導改善を図り、学習規律を整える。</li> <li>○どの児童も運動の特性に応じた楽しさを味わえるように、易しい場や規則を工夫する。</li> <li>○課題をしっかりとったり、課題に対して振り返ったりできるように、めあてを明示するとともに、振り返りの時間を確保する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	

## 【授業改善推進プラン 3年 総合的な学習の時間】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に取り組もうとしている児童が多い。</li> <li>○タブレット等、ICTを積極的に使おうとする児童が多い</li> <li>○他教科と関連付けて学習することができている。</li> <li>○問題の解決に向けて、友達と協力しながら粘り強く取り組むことが難しい児童もいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よりよい探究的な学習の在り方について検討していく必要がある。</li> <li>○学習内容に応じて、適切な地域人材等を活用していく必要がある。</li> <li>○児童一人一人の興味・関心に沿った学習方法を、可能な限り用意する必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の興味関心をリサーチして、単元計画を組むようにする。</li> <li>○地域資源を見直し、どの場面で活用できるか検討する。</li> <li>○学年合同授業の実施など、効果的な指導法を検討していく。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	



## 【授業改善推進プラン 3年 外国語活動】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○外国語の発音を繰り返したり、ゲームをしたりして、外国語活動に意欲的に取り組んでいる。</li><li>○ALTや友達と外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。一方で、コミュニケーションをとることを苦手とする児童もいる。</li><li>○「正しく理解したい。」という思いから、「外国語は難しい。」という印象を抱いている児童がいる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○どの児童も外国語に親しみ、すすんでコミュニケーションを取ることができるような学習内容を工夫する必要がある。</li><li>○ALTとよりよい連携を図り、役割分担を適切にしながら指導にあたる必要がある。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○授業の中で、基本的な英語表現を繰り返し発音できる場面を設定する。</li><li>○多様なゲームを取り入れ、楽しんで外国語に親しむことができるようにする。</li><li>○電子黒板やデジタル教科書、絵カードやジェスチャーなどを活用し、視覚に訴えることで児童の理解や意欲を促進する。</li></ul>
読み解く力の育成	

## 【授業改善推進プラン 3年 特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○教科書等を用いた読み物教材を活用する際には、登場人物の心情の変化を自分自身の経験と照らし合わせながら考えることができる児童が多い。</li><li>○自分の考えを積極的に伝える児童がいる一方で、そうでない児童もいる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○道徳的価値について、児童が自分事として捉え、真剣に学ぶ指導を工夫する必要がある。</li><li>○授業内で自分の考えを言えるようにしていく手だてが必要である。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○教科書や副教材、他の教材等、多様な資料を選択する。</li><li>○ペアや小集団、学級全体など、多様な話し合いの方法を取り入れる。</li><li>○みんな違ってみんないいという学級の雰囲気、道徳だけでなくすべての教科学習の中で築いていく。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○友達と意見を交流する場面を設定し、自分の考えを比べて、同義か異議か判断できるようにする。</li></ul>